

增訂
補正

國體大意

續編

福岡第一師範學校
(學校圖書)

登錄 番	第	號
社會科學門		
政治部		
國家	類	日本國家類
目次		
全	2	冊ノ内第 2 冊
分類 番	第	號
311.1		

24956

T1A1

23

I78

31

國體大意續編

石村貞一述

曩ニ小學課本ノ乏シキヲ以テ、我神聖忠孝ヲ
以テ國ヲ建テ、武ヲ尚ヒ民命ヲ重スル事ヲ記
シ、國體大意ト名ク讀者或ハ云フ、我天祖天壤
无窮ノ聖詔アリテ、皇統一系億萬斯年ナル、コ
レ我國體ナリ、何ソ此呶々ヲ用ント、予曰ク否、
聖詔明赫真ニ天日ト其光ヲ同フス、然レトモ、
人民怠惰ニシテ義務ヲ盡サ、レハ、泰礪河帶

モ其實ヲ見ス、天祖ノ志業亦繼述スヘカラス、故ニ億兆一心忠孝ヲ盡シ、而テ後能ク聖詔ヲ奉戴スル者ト謂フヘキ乎、茲ニ政教一途、民ヲ化シ、民ヲ教ユルハ我國體ナル事ヲ記シ、以テ續編ト為ス、是レ亦一片ノ老婆心ナリ、

明治八年第一月

我國ハ開國ノ始ニ當リテ、神聖續生ス、故ニ其國體ヲ立ル、天地ノ公理ニ基キ、萬古ニ亘リテ變革スヘカラサルノ國體ナリ、故ニ此國體ヲ體認シ、此國體ニ依憑スルトキハ、天道自ラ行ハレ、人義

問テ曰ク
神聖トハ
何人ヲ指
スヤ

自ラ全カルヘシ、コレ他ナシ、神聖ノ人民ヲ愛育セシ、盛德至善、萬世ニ布及スル所以ナリ、故ニ我國體ノ立ツ所以ヲ知ル時ハ、即チ道義ノ學ニ發明アル事、思ヒ半ハニ過キン、初學宜シク熟思スヘシ、

聖人ノ名教ヲ設クル、其本意ハ、タ、人民ヲシテ、天道天道トハ天然ノ道ヲ知ラシメ、人義ヲ修メシムルニ在ルヘシ、聖人ハ人民ノ先知先覺ナル者ナリ、知トハ氣付ヲ云、覺トハ氣カ付ナリ後生ノ者ハ宜シク先聖ノ心ヲ心トシ、造次顛沛ニモ、一事ヲ舉ケ、

問テ曰ク
顛沛ニモ
何如

一物ヲ處スルニモ、天道人義ニ背カスシテ、聖人
ニ愧チス、我心ニ快カラサルコトナキ様ニ心ヲ
拭クヘシ、天道人義ト云ヘハ、何カ六ヶ敷事ニテ、
知り得カタキ様ナレトモ、惡人ニテモ、惡事ヲ為
シテ、我心ニ快ヨキ事ハナク、善事ヲナセハ、自然
ト我心ニ快ク樂シキナリ、故ニ兇惡ト呼ル、足
利尊氏スラ、後醍醐天皇祖宗ノ仇ヲ復シ、王室ノ
大耻ヲ雪キ玉フトキ、其自己ニ便ナラサルヲ以
テ、更ニ擁立スル所アリ、兩帝統ヲ争フノ状ヲ成
シテ、己ノ志ヲ其間ニ成スト雖モ、大義ノ缺ル所

何
ルヤ
抑
スル

其心ニ快カラサルヲ以テ、常ニ吾レ天下ヲ天子
ニ争フニ非ス、天子ト天子ト争フナリト云ヒ、天
下ノ義ニ背キ、利ニ趨リ、耻ルナキ者、靡然トシテ
之ニ服従スルモ、亦吾レ北朝ノ天子ニ仕フ、足利
氏ニ従フニ非スト云フハ、其心ニ快カラサル所
アレハナリ、コレ人々固有ノ心ニシテ、即チ天道
人義ト云フモノナリ、

順序ヨリ云ヘハ、神聖ノ我國體ヲ立玉フ、本意ヲ
知り得サレハ、我國體ヲ知り得カタキカ如シ、然
レトモ、能ク國體ヲ知ルトキハ、國體ヲ立テ玉フ

問テ曰ク
然ルヘキ
然ル所以
トハ何如

本意モ、自ラ知り得ルコトアルヘシ、譬ヘハ画師ノ
画ヲ作ルニ、能ク其形ヲ寫シ得レハ、自ラ其情モ
見ハルヘク、能ク其情ニ通スレハ、自ラ其形モ具
ルコトヲ得ルカ如シ、國體ノ當ニ然ルヘキハ、其
然ル所以アリテノ事ナルヲ熟考スヘシ、
開國ノ始ニ、神聖續生シ玉フコトハ、我邦ハ水土
ノ秀美ニヨリテ、自然ト神聖ヲ生スルト云フ説
アリ、或ハ天神ノ意ヲ以テ神聖ヲ生スルト云フ
説アリ、一ハ究理説トナリ、一ハ宗教説トナル、各
自ノ意見アリ、強テ合一ニスヘカラス、タ、神聖

問テ曰ク
報本反始
トハ何如

ノ徳澤ヲ奉戴シ、臣民ノ義務ヲ盡シ、造次顛沛モ
報本反始ノ思ヲ忘ルヘカラス、太古ノ神聖ハ天
子ノ太祖トシテ奉戴スヘシ、造物主トシテ奉祀
スルハ、皇國ノ古典ニアラス、

問テ曰ク
拮据經營
トハ何如

我邦皇統ノ一系萬世ナルコト、天祖天照大神ノ
天壤无窮ノ聖詔ト違ハサルハ、固ヨリ偶然ニア
ラス、コレ神聖國體ヲ立ル、天地ノ公理ニ基キ、聖
皇賢弼、拮据經營ノ盛徳ニ依ルナルヘシ、然ルニ
或ハ我皇統ハ天神ノ定メ玉フ故ニ天壤无窮ナ
リト云フ、是レ神カヲ見テ、帝カヲ知ラサルモノ

問テ曰ク
何シノ法
ヲ以テ人
民ヲ愛育
セシヤ

ナリ、苟モ當初帝業ノ盛大ナルコトハ、帝意ノ人
民ヲ愛育シ玉フコトヲ知レハ、何ソ斯語ヲ為ス
コトヲ得ン、是レ猶松柏ノ數百年ヲ經テ、青々繁
茂スルヲ見テ、松柏ハ必ス數百年繁茂スルモノ
ナリト思ヒ、雨露培植ノ功ニ依テ盛大ニ至リ、无
窮ニ繁茂スルヲ知ラサルカ如シ、天照大神ノ聖
德、固ヨリ天壤无窮ニ布及スト雖モ、歷世天皇ノ
御繼述ニヨラスンハアルヘカラス、故ニ列朝ノ
御功業ヲ思ハサルトキハ、真成ニ皇恩ヲ知ラサ
ルモノト云フヘシ、

問テ曰ク
諾冊ニ尊
トハ何如

天照大神ヨリ、天孫瓊々杵尊ヘノ聖詔ニ曰ク、豐
葦原、是吾子孫可王之地也、爾宜就而治焉、寶祚之
隆、當與天壤无窮矣、依テ我邦ノ帝業ノ起源ヲ考
フルニ、諾冊ニ尊、草昧ノ世ニ出テ、天下ノ蒼生ヲ
愛愍シ、其主ト爲スヘキ者ヲ得ント欲シ玉ヒ、天
照大神ヲシテ高天原ニ統御タラシム、天照大神
ハ高產靈等ノ輔ヲ得テ、終ニ歷世ノ聖業ヲ大成
シ、瓊々杵尊ヲ以テ、天皇ノ位ヲ定メ玉ヒ、賜フニ
三種ノ神器ヲ以テシ、勅スルニ、天壤无窮ノ聖意
ヲ以テシ、付スルニ武甕槌經津主等ノ良弼ヲ以

テス至レリ盡セリト云フヘシ、

問テ曰ク
大八洲ト
ハ何々ノ
洲ヲ云フ

謹テ聖詔ノ子孫可王之地トハ、如何ナル義ヅト
考フルニ、大八洲ハ、詔冊二尊ノ經營シ玉フ所ナ
レトモ、人民未タ其處ヲ得サル故ニ、天照大神ハ
二尊ノ御心ヲ心トシ玉ヒ、終ニ群臣ニ命シ下土
ヲ平定セシメ、瓊々杵尊ヲ以テ降臨イタサセ玉
フハ、是レ大八洲ノ人民ヲ愛護シ玉フ、仁心ヨリ
起源スル所ナリ、王タルヘシトハ、王トナリ治ム
ヘキト云フ義ナルヘシ、彼ノ奸雄ノ嗜慾ヲ逞フ
セント欲シテ、暴威ヲ振ヒ、弱民ヲ抑壓シ、地ヲ略

問テ曰ク
黎元ハ
何ヲ指ス

シ、自ラ王トナリ、人民ヲ驅役スル義トハ大ニ相
違アルヘシ、我神聖ノ帝位ヲ治メ、百事ヲ興シ玉
フハ、全ク人民ヲ愛育シテ、天地ノ公義ニ依ラシ
ムルノ英志ヨリ出ルモノナリ、故ニ後世崇神天
皇ノ詔ニ云ク、惟我皇祖諸天皇、光臨宸極、豈為一
身、蓋所以司牧人神、經綸天下、故能世闡玄功、時流
至德、今朕奉承大運、愛育黎元、何以聿遵皇祖之蹟、
永保無窮之祚、群卿百僚、竭爾忠貞、共安天下、天皇
ノ詔、實ニ能ク天照大神ノ詔意ヲ詔述スト云
ヘシ、天皇一百十三歳ニテ、崩御アラセ玉フニ、其

開テ曰ク
茨田堤ハ
何ノ地ニ
アルヤ

年河内ノ狹山埴田水少キヲ以テ池溝ヲ開キ民
業ヲ寛フシ玉フ等ノコトアリ御老年ニ至リテ
モ政事ニ御勤勞為シ玉フコト斯ノ如シ又仁德
天皇ノ渠ヲ宮北ニ穿チテ海ニ通シ茨田堤ヲ築
テ北河ヲ防キ大溝ヲ山背栗隈縣ニ鑿テ田ニ溉
キ和珥池ヲ作り横野堤ヲ築キ橋ヲ猪甘津ニ造
リ又大溝ヲ感玖ニ鑿チ石河水ヲ引テ鈴鹿豐浦
等ノ地ニ溉キ田四萬餘頃ヲ墾スル如キハ皆ユ
ノ經濟ノ業人民ヲ愛育スル仁心ヨリ發ス故ニ
利ヲ興シ害ヲ除ク事至急ニアルモ猶人ヲ役ス

開テ曰ク
紀トハ何
ソヤ

ルニ農隙ヲ以テス世ノ功利ヲ貪ル者ノ比ニア
ラス人民ノ恩澤ヲ被ル深シト謂フヘシ且今日
桑ヲ植ヘ蠶ヲ養ヒ以テ天下ヲ利スルモ雄畧天
皇ノ國縣ニ詔シテ桑ヲ植シムルニヨリテ之ヲ
見レハ乃チ其遺利ヲ萬世ニ被ルモノナリ其他
列朝ノ垂訓人民ヲ愛育シ玉フ者ニアラサルハ
ナシ紀ヲ觀テ知ルヘシ
我皇統ノ連綿トシテ千歲一日ノ如クナルハ君
臣ノ義明カナルヲ以テナリ夫レ各國角立ノ君
ニ仕ルカ如キハ其道合ハサレハ去テ他ニ往シ

問テ曰ク
革命トハ
何如

モ可ナリ、又時々革命ノ君ニ仕フルカ如キハ、二
君ニ仕ヘサルノ義ヲ守リ、隱居センモ可ナリ、皇
國ノ如キハ、君ハ本コレ開國ノ太神、其子孫王タ
ルヘキノ地ニ、王タラシメ、王ヲ所ノ者ナレハ、率
土ノ臣ミナ一君ヲ仰カサルヘカラス、況ヤ仕ヘ
テ其俸祿ヲ辱フスル者ニ於テヤ、假令君君タラ
ストモ、臣ハ臣タルヘキ道ヲ盡サ、ルヘケンヤ、
ユエニ不忠不臣ノ者ハ、獨君上ノ臣タラサルノ
ミナラス、開國太神ノ臣タラサルナリ、且君上モ
就而治焉ノ神勅ヲ奉シ、敬神愛民ノ獻慮、且暮懈

問テ曰ク
琴瑟ヲ鼓
スル如シ
トハ何如

リ至ハサレハ、其治メ王ヲ所ノ民ニシテ、奉職ス
ル者、拮据勉勵其輔佐ヲナサバ、ルヘカラス、斯ノ
如ク君臣能ク合スルコト、琴瑟ヲ鼓スル如ニシ
テ、天壤无窮ノ聖詔虚シカラス、凡ツ君臣ノ義ヲ
云ヘハ、君ハ天ノ能ク覆フカ如ク、大小ノ臣民ヲ
潤シテ其徳ヒロシ、臣ハ地ノ能ク載ルカ如ク、百
事ヲ任持シテ、各自ノ務ニ勞ス、天若地ナクンハ、
何レヨリシテコレヲ仰カン、地若シ天ナクンハ、
何レヨリシテコレヲ潤サン、斯ノ如ク能ク上下
ノ別ヲ辨ヘテ、相依ルノ親ヲ存シ、上ハ下ヲ禮シ、

下ハ上ヲ敬スルヲ、君臣ノ義トスルナリ、然レトモ、若シ我君ヲ愚ナリ昏ナリトシテ、他ニ往キ君ヲ求ルハ、我父ヲ頑愚トシテ、家ヲ出テ、隣家ノ翁ヲ父トスルニ齊シ、コレ大義ヲ缺クト云フヘシ、古来國強ク勢盛シナルトキハ、孰レモ忠勤ヲ勵ムモノナリ、國衰ヘ勢去ルニ至ラハ、志ヲ變シ、敵ニ降り、主ヲ賣ル類寡カラス、故ニ人ハ晚節ヲ全フスルニ非レハ、何程才智學藝アリトモ、亦何ソ尊フニ足ンヤ、明主ニ忠アルハ珍ラシカラス、暗主ニ忠ナルコソ真忠ナレ、慈父ニ孝ナルハ、珍ラ

問テ曰ク
主ヲ賣ル
トハ何如

シカラス、頑父ニ孝ナルコソ、真孝ナレ、賞譽セラレテ忠孝ナルコト、珍ラシカラス、責罰セラレテ忠孝ナルコソ、真ノ忠孝ナレ、臣子タル者、嗜ムヘキコト、實ニ爰ニアリ、

父ノ子ニ於ル、慈惠ノ撫育、勸誡ノ訓誨ナカルヘカラス、子ノ父ニ於ル、孝養ノ務、百事ノ勞ヲ任セスンハアルヘカラス、斯ノ如ク慈惠孝養ノ宜キアリ、若コノ宜キヲ失ヘハ、愛モ舐犢ノ愛ニシテ、慈ト云ヘカラス、艱モ犬馬ノ養ニシテ、孝ト云ヘカラス、慈孝互ニ行レテ、始テ父子ノ親ヲ成スト

問テ曰ク
舐犢ノ愛
トハ何如

問テ曰ク
皇孫ノ名
ハ何ト云

謂ヘシ、故ニ諾冊二尊生ミ玉ヘル所ノ子ヲ、能ク
訓誨シテ、其治ル所ヲ定メ玉フ、中ニモ天照大神
ノ神聖ヲ選ンテ、天下ノ主トナス、大神モ亦コレ
ニ則リテ、皇孫ヲ訓誨シ玉ヒ、此鏡ヲミルコト、我
ヲ見ルカ如クセヨト、警言シメ、王タルヘキ地ニ就
テコレヲ治メヨト、勅シテ、天下ノ主トシ玉ヘリ、
二尊ノ大神ニ於ル、大神ノ皇孫ニ於ル、皆其子ニ
撫育慈惠ノ親ヲ為スコト斯ノ如シ、皇孫ノ大神
ニ於ル、大神ノ二尊ニ於ル、皆其父母ニ隨順シテ、
孝養ノ親ミヲ全フスルコト斯ノ如シ、コレ天下

問テ曰ク
婦其夫ニ
先ツテ
トハ何如

問テ曰ク
開屋媛ハ
何ヲシテ

後世ノ聖則ナリ、豈コレヲ仰キ、コレニ則ラサル
ベケンヤ、且夫婦ノ別モ、諾冊二尊始テ此道ヲ成
シ、コレヲ行ヒ玉フニ、婦其夫ニ先ツテ竟ニ韋ヲ
得ス、コレヲ彼ノ天神ニ正シテ、始テ其宜キヲ得
玉ヘリ、凡ソ夫婦ノ際ハ、其情得テ言カタキ者アリ、
故ニ神明モ斯ノ如ク、慇懃ニ其得失ヲ彰シ、以
テ天下後世ノ龜鑑トナシ玉ヘリ、又開屋媛ノ皇
孫ニ於ルカ如キ、所謂貞女ハ二夫ヲナラヘサル
ノ、模範ヲ示シ玉ヘル者ナリ、是レモ亦我國體ナ
リ、婦女子タルモノ、コレニ則ラスンハアルヘカ

國常立尊
ヨリ天照
大神マ
何世ナリ
シヤ

ラス、
仁德天皇ノ詔ニ、天之立君爲民トノ玉ヘルハ、人
君自ラ戒ル所ナリ、蓋シ人君ノ天職ハ萬民ヲ治
ルコトナリ、民ノ爲メノ君ナレハ、民ナケレハ君
ニモ及ハス、故ニ民ヲ本トス、是等ノ處ハ、篤ト味
フヘシ、吾國ハ辱ケナクモ、國常立尊ヨリ、代々ノ
神々ヲ經テ、諾冊ニ尊ニ至リ、天下ノ主タル天祖
天照大神ヲ生ミ玉ヘリ、夫レヨリ以來列聖相承
ク、寶祚ノ隆シナル、天壤ト窮リナク、萬々代ノ後
ニ傳ハルコトナレハ、國土山川草木人民皆天祖

國テ曰ク
天下ハ一
人ノ天下
ニ非スト
ハ誰レノ
言ソヤ

以來、保守護持シ玉フ者ナリ、故ニ天下ヨリ視レ
ハ、人君程尊キ者ハナシ、人君ヨリミレハ、人民程
貴キ者ハナシ、此君民ハ、開闢以來一日モ相離レ
得ル者ニアラス、故ニ君アレハ民アリ、君ナケレ
ハ民ナシ、又民アレハ君アリ、民ナケレハ君ナシ、
此義ヲ辨セスレテ、天下ハ一人ノ天下ニ非ス、天
下ノ天下ナト云フ者ハ、國體ヲ知ラサル者ト云
ヘシ、
國體ノ赫々タルハ、天日ノ如シ、眼アルモノ、誰カ
天日ヲ見サル者アランヤ、然レトモ眼疾アリ、其

問テ曰ク
北條義時
足利尊氏
ハイカナ
ル事ヲナ
セシヤ

明ヲ失フ者ハ、天日ノ何物タルコトヲ知ラス、國體確立、千古ニ昭々タリト雖モ、道義ノ心ヲ失ヒ、公明ノ眼ヲ亡スルトキハ、國體ノ何物タルヲ見ル能ハス、彼ノ北條義時、足利尊氏等ノ如キハ、眞ニ目ナキ者ト謂フヘシ、苟モ我國ノ人民タル者ハ、道義ノ心ヲ存シ、公明ノ眼ヲ具シ、國體ヲ錯見スルコトナカレ、固ク國體ヲ體認シ、國體ニ依憑スル者ハ、忠臣義子ノ範圍ニ入ル事ヲ得ヘシ、國體ヲ維持スル事ハ、其任在官ノ人ニ非サレハ、一人ノ企及スヘキコトニ非スト思フ者アリ、是

問テ曰ク
小善ヲ抛
チ小惡ヲ
忽セニス
トハ何如

レ大ニ非ナリ、一人維持スレハ、一人ノ功ヲ爲シ、千人維持スレハ、千人ノ功ヲナス、一燭ヲ燒ケハ、一燭ノ明アリ、萬燈ヲ点スレハ、萬燈ノ明アルカ如シ、一人ハ一人ノ分ヲ盡スコトヲ心ニ掛クヘシ、善ヲ爲ント欲セハ、小善トテ抛ツナカレ、惡ヲ慎シムニハ、小惡トテ忽セニスルナカレ、我邦ノ國體ハ、祖宗ノ立テ玉フ所ナレハ、天皇ハ祖宗ノ御心ヲ御心トシテ、維持シ玉ヒ、臣民ハ當初祖宗ヲ輔佐セシ、臣民ノ心ヲ心トシテ、斯クシテハ、祖宗ノ御心ニ背ムキハセヌカ、斯クスレハ、

祖宗ノ御盛業ヲ輔佐スルコトヲ得ヘキヤト、在
官非官ニカ、ハラス、君臣ノ義ヲ、暫時モ忘ル、
コトナク、各其地其位ニテ、國體ヲ維持スルコト
ニ注意スヘシ、是レ人民一般ノ職分ナリ然ルニ
世人動モスレハ云フ、我國ハ神國ナリ、神能ク國
ヲ維持ス、中古元兵ノ西海ニ寇スルヤ、皇祖ノ神
威赫怒シテ、忽チ風雨ヲ起シ、以テ其全軍ヲ殲ニ
スト、神威窈冥、固ヨリ人智ノ測ルコト能ハサル
所ト雖モ、先ツ後龜山帝、及ヒ北條時宗、斷然身ヲ
致スノ至誠アリテ、然ル後チ、天地神明モヨク力

問テ曰ク
元兵寇セ
シハ何帝
ノ朝ソヤ

問テ曰ク
忠孝信義
ノ人トナ
ラシメサ
レハ何ノ
害アリヤ

ヲ致スヲ得、恃ムヘキハ人功ニアルノミ、若シ徒
ラニ神威ヲ恃ミ、祈禳禱祝シテ、備ヘヲ設ケサレ
ハ、亦危カラスヤ、後ノ國體ヲ維持スル者、豈獨リ
神威ヲ恃テ、人事ヲ懈ルヘケシヤ、
祖宗ノ國體ヲ立玉フ、御本意ハ人々ヲシテ、忠孝
信義ノ人トナラシメン為ナリ、忠孝ノ行ヒテ為
シメントスルニハ、衣食ヲ足ス事ヲ要務トス、兵
革ヲ治メ、暴惡ヲ懲シ、國ヲ富シ、兵ヲ強フスルモ、
唯人民ノ嗜慾ヲ充實セシムルニ止ルニハ非ス、
人民ヲシテ、忠孝信義ノ人ト為ラシメサレハ、人

問テ曰ク
人ト禽獸
トノ異ナ
ルコトハ
イカナル
処ニアリ
ヤ

禽獸ト異ナルコトナシ、祖宗ノ人民ヲ愛育スル
必ス養ト教トアルナリ、故ニ天皇ハ億兆ノ君師
ト云ヘリ、

凡ソ人臣タル者ハ、未生ノ前ヨリ君恩ニ浴シ、已
ニ生ルハ、ヤ一衣一食ヨリ、一田一廬ニ至ル迄、君
恩ニ非ルハナシ、況ンヤ重祿高位ヲ世々ニスル
者ヲヤ、身體髮膚父母ノ賜ヲ所ト云フトモ、頂ヲ
摩テ踵ニ至ルマテ、皆君ノ賜物ニ非ルハナシ、瞋
目シテ此身根本ノ来由ヲ思ヘハ、感激ノ心悠然
トシテ興リ、報効ノ心勃乎トシテ生ス、是レ人臣

問テ曰ク
死生休戚
トハ何如

又問フ模
範トハ何
如

ノ義ナリ、此義アルヲ以テ、君ト死生休戚ヲ同フ
シ、死ニ至ルト雖モ、君ヲ棄去ルヘキ道絶テナシ、
世ノ君ニ事ルコトヲ論スル者、常ニ功業立サレ
ハ、國家ニ益ナシト云フ、然レトモ、風雲相會セサ
レハ、功業立難シ、假令ヒ功業ナクトモ、人臣ノ道
ヲ失ハス、永ク後世ノ模範トナレハ、必ス其風ヲ
觀感シテ、興起スル者アリ、遂ニハ其風一定シテ、
賢愚貴賤オシナヘテ、節義ヲ崇尚スル様ニナル
ナリ、然レハ其身ニ於テ、功業名譽ナキ如クナレ
トモ、千百歳ニ亘リテ、其忠タル豈舉テ數フヘケ

ンヤ、是ヲ大忠ト云ナリ、コレ我國體上ヨリ出来ル所ナリ、

愛國ノ義ニ兩條アリ、此國ハ天皇ノ國ナリ、故ニ國體ヲ欠ク事アリテハ、君臣ノ瑕疵ナリ、一人忠孝ノ行ヲ失フトキハ、國體ニ於テ一人分ノ瑕疵ヲ生スル故ニ、寸分モ國辱ナキ様ニト心掛ケ、富強ナラン事ヲ欲スルハ真ノ愛國ト謂フヘシ、是レ即チ愛國ハ愛君ヨリ起ルモノナリ、又愛國ハ家ヲ愛シ身ヲ愛スルト、大小ノ異アルノミニテ、苟モ我國ヲ愛セサルトキハ、我身ヲ愛セサルニ

開テ曰ク
瑕疵ト
何如

開テ曰ク
毫釐千里
ノ差トハ
何如

同シク、災ヒ其身ニ及フヲアルヘシト云フ、是レ利心ヨリ發スル愛國ニシテ、義心ヨリ發スル者ト異リ、苟モ利心ヨリ發スルトキハ、我身ノ損益ヲ校量シ、終ニハ君ヲ棄テ、他人ヲ君トスルニ至ルヘシ、義ト利トノ分畧ハ、毫釐ヨリ千里ノ差別ヲ生ス、畏レ且慎シマサルヘケンヤ、我邦ハ古ヨリ風化ヲ尊フ故ニ、其教モ專ラ事實ニ存ス、天照大神ノ瓊々杵尊ニ、三種ノ神器ヲ賜フモ、コノ神器ニ智仁勇ノ三德ヲ寓ス、鏡ハ明ナリ、劍ハ武ナリ、玉ハ仁ナリ、德ヲ玉ニ比シ、明智ヲ

鏡ニ比シ、勇武ヲ劍ニ比シ以テ鴻基ヲ建ツ、故ニ上ノ好ム所ハ、下必ス是ヲ好ムハ、外國ニアリテモ、固ヨリ然リト雖モ、皇國ニハ、殊ニ其風習アリ、是レ何事モ、上古ヨリ實事ヲ以テ示諭スル風習アレハナリ、故ニ今日政制ヲ一變シ、一朝ニシテ六百年來ノ弊風ヲ革除シ、廢藩置縣ノ大事業ヲ為シ、又廣ク萬國ノ長技ヲ采用スルニモ、數年ノ間ニシテ、大ニ工藝ノ進步スルハ、是レミナ古來ヨリ上ノ為ス所、下コレニ從フノ風習ニ基ヒスト云ハシ、

開テ曰ク
六百年來
ノ弊トハ
何ヲ云フ
ヤ

開テ曰ク
所當然ト
所以然ノ
差ヒ何如

政教ハ一途ナリ、政ハ人民ヲシテ、各々其務ムヘキ、所當然ノ事ヲ行ハシメテ、非禮非義ニ陷入シメス、其天然固有ノ本性ヲ保全シ、其天然固有ノ知識ヲ暢達セシムル為メ、其制ヲ立テ、其令ヲ施シ、之ニ依ラシメ、之ヲ守ラシム、是レ政ナリ、教ハ人民ヲシテ、各々其務ムヘキ、所以然ノ理ヲ知ラシメ、此政令ヲ施スハ、此理ニ依リ、此制度ヲ立ルハ此義ニ據ルト、政事ノ本意ヲ了得セシムル、是レ教ナリ、譬ヘハ錦繡ニ表裏アルカ如シ、表ニ花鳥ノ模様ヲ織成シタルヲ、裏ヨリ見レハ、五絲ノ

問テ曰ク
宗教宗教
ノ同異何
如

絲ノ其模様ヲ織出ス本ヲ知り得ルカ如シ、故ニ
政ヲ以テ身行ヲ修メシメ、教ヲ以テ心術ヲ正サ
シム、政教ハ一物ノ表裏アルカ如シ、兩途ニ非サ
ルハ、是レ我國體ナリ

教ニ治教ト宗教トアリ、近來西洋ノ風俗ヲ見聞
スル者ノ言ニ云フ、政ト教トハ二途ナリ、政ハ君
民共和等種々ノ政体アリ、各國其宜キニ隨テ之
ヲ行フ、教ハ人々ノ信向ニ任セ、政府ヨリ敢テ之
ヲ束縛セスト、コレ即チ宗教ニシテ、治教ニハア
ラサルナリ、宗教ハサモアルヘシ、治教ハ法律ト

問テ曰ク
孝德帝以
來幾回變
革アリシ
ヤ

並ヘ行ハスシハアルヘカラザルナリ、

國體ハ千歳不易ト雖モ、制度ハ時ノ宜キニ隨フ
モノナリ、故ニ孝德天皇以來、數々變革アレトモ、
ミナ其弊ヲ改メテ、神聖ノ舊章ニ率由ス、故ニ大
化元年七月、左右大臣ニ詔シテ曰ク、當遵上古聖
王之跡以治天下、又宜有信於天下、又明治元年戊
辰ノ春、詔シテ天下ニ告ケ玉フニモ、復古一新ノ
盛意ヲ以テシ、上古神聖ノ清風ニ基キ、從前ノ汙
俗ヲ一變ス、コレ一新即チ復古ナリ、然シテ萬國
ノ交際、彼此親ミヲ通シ、彼ノ長技ヲ採用シ玉フ

開テ曰ク
學校ヲ建
テ教院ヲ
設クル何
ノ年ニ始
ルヤ

ハ、コレ一新ヲ以テ復古ヲ潤色スルトコロナリ、
コレ全ク新奇ノ事ヲ好ムニ非ラス、億兆ヲ保安
セント欲スル、仁心ヨリ出ルモノナリ、故ニ百姓
ノ言路ヲ開テ、天下ノ公議ヲ採リ、諸國ノ品物ヲ
集メテ、都鄙ノ受用ヲ足ラシメ、學校ヲ建テ、教院
ヲ設ケテ、人民ノ知識ヲ開キ、修善ノ方向ヲ知ラ
シメ、律法ヲ正シ、罪過ヲ詳ニシテ、人民ノ畏慎ヲ
勸メ、止惡ノ端緒ヲ知ラシムル等一トシテ、保護
愛育ノ術ヲラサルハナシ、令上天皇ノ往聖ヲ繼
キ、來哲ヲ開キ玉フコト、斯ノ如シ、天下ノ臣民タ

開テ曰ク
虚器ヲ擁
ストハ何
如

ルモノ、宜シク大化ノ明詔ヲ奉承シ、明治ノ聖旨
ヲ體認シテ、信ヲ天下ニ失ハスンハ、國體ヲ知ル
ニ庶幾スヘキ乎、
政權ノ武臣ニ遷ルコト、賴朝以來六百餘年、朝廷
殆ント虚器ヲ擁スルモノ、如シ、而ルヲ、令上天
皇一旦ニシテ之ヲ収ム、千歳ノ一機ト云ヘシ、コ
レ固ヨリ天皇ノ睿明、輔弼ノ盡カニ出ルト雖モ、
祖宗ノ神德、列聖ノ治教、天下人民ノ骨髓ニ徹シ、
三尺ノ童子モ、大義名分ヲ辨スルヲ以テナリ、是
ヲ以テ東奥ノ逆賊モ、皆城ヲ出テ錦旗ノ下ニ降

明治九年
改テ三府三
十五縣ト為
シ十二年又
一縣ヲ増ス
問テ曰ク
台灣ノ役
ハ何ノ年
ニアリヤ
明治十二
年琉球藩
ヲ廢シテ
沖繩縣ヲ
置ク

伏シ、七道ノ諸侯モ、競テ版籍ヲ奉還シ、天下舉テ
朝廷ニ歸シ、政權忽チ古ニ復ス、故ニ海内ヲ分テ
三府六十縣トナシ、蝦夷ヲ開テ北海道トナシ、琉
球ヲ封シテ藩トナス、既ニシテ其藩民台灣土蕃
ノ爲ニ、傷害セラル、者アリ、之ヲ以テ師ヲ起シ
台灣ヲ征シテ土蕃ヲ懲戒セシム、其藩民ヲ愛育
スル猶斯ノ如シ、況ヤ内地ノ民ニ於ルヲヤ、其恩
澤ヲ祇ル厚キ、故ニ報効ノ意薄カラス、千百歳一
日ノ如クナル者ハ、列聖祖宗ノ御心ヲ御心トナ
シ、天下ヲ統治シ玉フニ依ルナリ、天壤无窮ノ寶

祚豈偶然ナランヤ、

我國人情ノ敦厚ナル、コレ先皇仁教ノ化育スル
所ナリ、故ニ祭ヲ以テ政ヲ爲シ、政ヲ以テ祭ト爲
ス、蓋シ人情ノ厚キニ基セリ、夫レ祭祀ハ人情ニ
出ツ、人情ノ休ム能ハサル所、見ハレテ祭祀ト爲
ル、父母ノ死スル、其四體ヲ以テ、溝壑ニ委棄スル
能ハサル、コレ人情ニシテ、是レ即チ天然固有ノ
條理ナリ、是レ人ト禽獸ト異ナル所以ナリ、故ニ
之ニ供スルニ平生嗜好スル所ノ物ヲ以テス、是
レ祭祀ナリ、其時ニ當テ、鬼神ノ状情如何ヲ問フ

問テ曰ク
四休トハ
何如

問テ云ク
陽魂陰魄
ノ事ヲ説
カサレハ
何ヲアテ
ニ祭ルヤ

ヲ用ユヘカラス、然ルニ強テ鬼神ノ有无ヲ論シ、
或ハ陽魂陰魄ノ説ヲ創メ、黍稷稻粱ヲ以テ、陰魄
ヲ養ヒ、牛羊豕ヲ以テ陽魂ヲ養フノ説ヲ為スモ
亦其理ヲ得ルモノト謂フヘカラス、苟モ人ノ性
ヲ具スル者、人ノ情ヲ具セザルモノナシ、性ナル
者ハ、人々ノ固有ニシテ、改ムヘカラサル者ナリ、
情ナル者ハ、人々ニテ異ナル所以ノモノナリ、人
情一タヒ變シテ、終ニ習俗トナル、我國ノ祭祀ヲ
以テ政ト為スハ、是レ上下祖宗ヲ追念スルノ厚
キニ出ツ、我皇國ハ天祖ノ建ル所ナリ、是ヲ以テ

問テ曰ク
何故ニ祭
ヲ嚴密ニ
スルヤ

天皇ハ天皇ヲ追念シテ、天祖ノ鴻業ヲ無窮ニ傳
ヘント欲シ、臣民ハ其祖先ノ天祖ヲ補翼セシ、志
業ヲ繼述シ、千萬年一日ノ如シ、是レ我皇國ノ人
情ニテ、祖先ニ報スル心ナリ、是ノ心ヲ以テ祖先
ニ事ル、是レ祭祀ナリ、
祭祀ノ式ニ至テモ、各國其式ヲ異ニス、我祭祀ハ
我國ニ始マリ、他國ニ倣フニ非ス、我天皇ノ天照
大神ヲ祭り玉フ、其式嚴密至ラサル所ナシ、其供
スル所、實ニ陸ノ産スル所、海ノ生スル所、生ト熟
ト乾ト醢ト、ヲ問ハス、悉ク供ヘサルナシ、之レニ

問テ曰ク
盥拂織縫ノ器ニ至ルマテ、一
ノ器ヲ具
フルトハ
何如

加フルニ、衣服ヨリ盥拂織縫ノ器ニ至ルマテ、一
モ具ハラサル者ナシ、死ニ事フ生ニ事ル如シ、是
レ我國ノ風俗ニシテ、死者ヲ死視セサルノ風俗
ニ出ツ、其式固ヨリ貴賤ニ依リ、同異アルヘシト
雖モ、其之ヲ行フ所以ニ至ツテハ、亦タ同一ノ性
情ニ出ルト謂フヘシ、

土地人民ヲ以テ、祖先ノ物ト為シ、之ヲ私有セス、
之ヲ守リ之ヲ治ムル、我職分ノ當然一為シ、一毫
モ憍慢ノ心ヲ生セサルハ、我國ノ人情ナリ、能ク
此情ニ通シ、其事ヲ修ムル者ヲ、能ク政ヲ為スト

問テ曰ク
死者ニ祭
ルヲ以テ
快トスル
ヤ祭ラサ
ルヲ以テ
快トスル
ヤ

謂フ、其之ニ反スル者、之ヲ不敬ト為ス、

西法ハ死者ヲ祭祀セス、我死者ヲ祭祀スルヲ以
テ徒設ト為ス、或ハ云フ死者ハ食スル能ハス、而
シテ飲食ヲ供スル、固ニ益无シ、光陰ハ貴重ナリ、
之ヲ徒費シテ祭祀ヲ修ム、真ニ人事ニ便ナラス
ト、是レ西法ノ我國ニ異ナル所ナリ、近時西學ニ
従事スル者、其學ニ依リ、終ニ西俗ヲ喜ビ、我國ノ
人情ヲ疑フ者アリ、古人云ク其志ニ生シテ、其事
ニ害アリ、其事ニ生シテ其政ニ害アリト、西學ニ
従事スル者、宜ク反省スヘシ、

問テ曰ク
稱謂トハ
何如

古昔神祇官ヲ以テ、諸官省ノ上ニ置ク、是レ祖宗
ヲ尊崇スル所以ナリ、鬼神ヲ假リテ教ヲ為スニ
アラス、我朝廷ノ祭祀スル所ノ神祇ナル者ハ、國
土ニ切アル人ヲ祭祀スルナリ、古ヨリ天神地祇
ノ名アリト雖モ、亦タ支那ニ稱セル天神地祇ト
其實ヲ異ニス、稱謂ニ依テ其實ヲ誤ル事勿レ、彼
ノ神祇官ヲ重スルハ、人々ヲシテ、其祖先ヲ尊崇
シ、其家業ヲ以テ私事トセス、其子孫ニ謹慎ノ道
ヲ教ヘシメン為ナリ、故ニ列聖人民ヲ愛育セシ
盛德至善、萬世ニ布及ス、凡ソ人民タル者、日夜奉

問テ曰ク
鎮火鎮魂
導饗等ト
ハ何如

戴忘ルナクシハ、始テ皇國ノ人民タルニ愧チス
シテ、天壤無窮ノ神勅モ將サニ赫々光ヲ加フル
アラントス、慎マサルヘケンヤ、
我國ハ穀ヲ以テ食トナス、故ニ農ヲ重ンス、天祖
齋庭ノ穂、用ヒ以テ蒼生ヲ願養シ、而テ其收穫ス
ル所、貢キ以テ嘗祭ノ用ニ供シ、以テ其本ニ報ス
ルノ誠ヲ輸ス、而シテ大嘗ノ祭、國ノ重典タリ、凡
ソ大小ノ諸祭、上世ニ權興シテ、列聖ノ紹述ニ備
ル、初年ハ民ノ為ニ豐熟ヲ求メ、月次ハ邦家ノ泰
寧ヲ禱ル、及ヒ鎮火鎮魂導饗等ノ如キ、福ヲ祈リ

災ヲ禳ヒ、仁民愛物ノ政ト並行シテ、以テ相資リ
相濟ス、夫レ祭祀ハ人情ノ止ム能ハサルニ始リ、
民德ノ厚キヨリ出ツ、上之ヲ行ヒ、下之ヲ助ケ、上
下各々其德ヲ正フシテ、而後祭事始テ修マリ、政
事全ク成ルト謂フヘシ、祭ヲ以テ政ト為シ、政ヲ
以テ祭ト為スハ、是レ我國ノ國體ニシテ、生ヲ此
國ニ得ル者、孰レカ其幸福ヲ祝セサラン哉、

國體大意續編 畢

備考

泰礪河帶

史記ノ高祖功臣年表
ニアル誓ノ語ナリ

造次顛沛

セハシクミ
ダレタリトキ

靡然

カビク
カタナ

賢弼

カシキ
マスケ

當初

ソノ
カミ

培植

ツカカ
ウユル

繼述

ノキ
ノミ

草昧

セノ
シラ

高天原

今ノ大和ノ國
高市郡ノ

諾冊

イリナキノミコ
イサナミノミコトヲス

武甕槌

イサナキノミコ
イサナミノミコトヲス

經津主

今ノ大和ノ國
高市郡ノ

良弼

賢弼ト
同シ

大八洲

大日本連秋津洲、伊豫、名洲、流紫洲、隱岐洲、佐渡
洲、越洲、大洲、吉備子洲、淡路洲ヲ加ヘテ大洲

經綸

天下ヲ治
スルヲ云フ

關玄功

オホヒ
ノ功ノ開

光臨

天子ノ位
ニ即ク

極

天下ヲ治
スルヲ云フ

竭

天下ヲ治
スルヲ云フ

挾山填田

オホヒ
ノ功ノ開

茨田山

オホヒ
ノ功ノ開

縣和

オホヒ
ノ功ノ開

珥池

オホヒ
ノ功ノ開

橫野

オホヒ
ノ功ノ開

猪甘

オホヒ
ノ功ノ開

津感

オホヒ
ノ功ノ開

垂訓

オホヒ
ノ功ノ開

連綿

オホヒ
ノ功ノ開

革命

前代ヲ攻メ亡レテ
ナル支那ナトノコヲ云

琴瑟

オホヒ
ノ功ノ開

鼓スル

オホヒ
ノ功ノ開

如シ

ヨク調
シ治リ

晚節

身ノオホ
リヲ云フ

舐犢

オホヒ
ノ功ノ開

愛

オホヒ
ノ功ノ開

犬馬

オホヒ
ノ功ノ開

如シ

ヨク調
シ治リ

晚節

身ノオホ
リヲ云フ

舐犢

オホヒ
ノ功ノ開

愛

オホヒ
ノ功ノ開

犬馬

オホヒ
ノ功ノ開

養クハセルバカリノ開屋媛ハシノリ摸範チヤン國常立尊タコタテノミコト龜鑑カミミ

開闢カイハク赫カク錯見サカミ企キ及キ維持ツナギ赫カク

怒イハヒ竊冥セウメイ殲セン祈禳キキョウ禱祝トウシツ休戚キウセキ瑕カ

瑾キン校量カウリヤウ毫釐ハカリン所當然ショウゼンニオカリ所以然ソノヲケ

錦繡キンシュウ五絲ゴシ億兆イチャウ往聖ワウセイ來哲ライセツ廢ヘイ

幾キ錦旗キンキ版籍ハツセキ土蕃トハツ委棄ウキ狀ジョウ

情シヨウ鬼神クワンシツ陽魂陰魄ヨウコンインハク精爽セイソウ補翼ホウキョク

乾カン卜ウラナヒ醢カイ盟メイ櫛シ憍慢キョウマン稱謂ショウブイ天神地祇テンシンチキ

權輿ケンイ鎮火チンカ鎮魂チンコン導ドウ

明治十四年二月廿四日 版権免許 出版 同 六月

著者兼出版人

山口縣平民 石村 貞一

東京府平民 東京麹町區上六番町四番地

發賣人 吉川 半七

同 京橋區南傳馬町一丁目十二番地

東生 龜次郎

日本橋區通旅籠町二番地

湯上 市兵衛

大坂府平民 大坂彌生町三丁目六十番地

松邨 九兵衛

大坂心齋橋筋壹丁目十三番地